

健康づくりは まず予防から

全国屈指の健診制度を利用して

新さわやか健診は国の指定項目に11項目追加

本市では4月から40歳から74歳を対象にした特定健診・特定保健指導や75歳以上の市民を対象にした後期高齢者健診、65歳以上の市民を対象にした介護予防のための生活機能評価に、新しく本市独自の健診を加えました。この「新さわやか健診」は、国が指定する17の健診項目に加え血液や腎臓、肝臓、心臓などの疾患を11項目にわたり検査するもので、さらに充実を図るものです。(下図のとおり)

しかし、昨年度実施した「さわやか健診」の受診率は48割。新しく充

市民の健康を増進するために健診項目の充実



市民の健康を増進します

前橋市医師会
八木 茂 理事

今までも市と市医師会は協力して人間ドック並みの充実した基本健診を行ってきました。

4月から実施された新さわやか健診は、医療制度改革に伴う医療保険ごとの生活習慣病に着目した特定健診に市独自の検査項目を加えた総合的な健診制度であり、私ども市医師会は、高く評価しています。

健康診査は、今現在の体の状況を知り、自らの健康管理をいかにするかを決める手段として大変重要です。市の行う健康診査は、がん検診も含めて大変充実しています。病気の予防のための生活習慣を身に付けるために、基本健診やがん健診を年に1度は受診していただきたいと思います。

市では国民健康保険加入者の該当者に保健センターの保健師や管理栄養士が支援を行います。

スマイル健康診査で 将来の健康づくり

18歳から39歳までの若い人については「スマイル健康診査」を行います。検査内容は身長・体重・腹囲・血圧測定、検尿、血液検査(脂質・肝機能・貧血・血糖)の生活習慣病や疾病に関する診査です。メタボリックシンドローム予防を目的とした腹囲測定も行います。

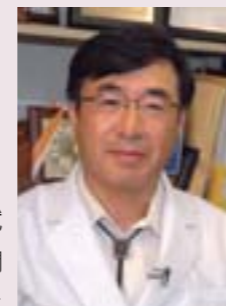
若いうちから健康に関心を持ち、健康診査を受けて自らの身体状況を

3人に1人はがんで死亡 年に1回がん検診

日本人の死因の約6割が生活習慣病。生活習慣病とは、高血圧、脂質異常症、糖尿病、心臓病、脳卒中、がんなどの病気です。その中でがんによる死因は5割に達しています。がんを早期に見出し早期治療に結び付けるために、年に1回はがん検診を受けましょう。

重粒子線治療施設への支援

群馬大と県との共同事業で群馬大病院内に全国で3番目の最先端のがん治療施設「重粒子線治療施設」が来年3月に完成します。臨床試験を行った後、平成22年4月から本治療が開始される予定。本市では、市民の健康を守る医療環境の充実に貢献することから、この施設建設に対し支援を行っています。現在、この治療は保険適用外であるため、治療費は約300万円。1日も早く保険適用になるよう県と連携して国に働き掛けるとともに、保険適用になるま



前橋で始まる最先端治療
群馬大医学部重粒子線医学研究センター副センター長
中野 隆史 教授

建物は10月に完成し、その後臨床試験を行い平成22年4月には本治療が開始する予定です。従来の放射線治療と比べ、がんに対する治療効果が高く、切らずに治すことができるので身体への負担も少ない優れた治療法。従来の放射線治療と比べて大きく3つの利点があります。1つは、がんのその部分だけに照射されるので副作用が格段に少ない。2つ目は、治療が難しかったがんに対しても優れた効果を発揮する。3つ目は、治す効果が高いため少ない照射回数(最短1日)で治療することが可能です。

この治療は、平成15年に先進医療として認められましたが、あまり普及していないことから、一般の保険診療として認められていません。このため、現段階では、約300万円の治療費が想定され、高額であることから、できるだけ早く保険適用となることが望まれます。

重粒子線治療施設

で市民への支援策についても検討を始めます。

家計にも優しい医療制度 子育て世代もしっかり支援

子どもの医療費の無料化

中学生まで拡大しました。入院・通院を問わず窓口での支払いは無く、所得制限もありません。

妊婦健診の充実

助成回数を2回から6回に(県内他都市では5回)。

一般不妊治療費の助成

新規事業として自己負担の2分の1を限度に、年間5万円を上限として、2年間助成をします。

中核市移行で保健所設置 きめ細やかなサービス

現在市で実施している母子保健や健康増進事業に加えて、食品衛生、生活衛生や感染症対策など、一元的にきめ細かな地域保健サービスが提供可能となります。

市民や地域の活動 特別番組などで情報発信

特別番組のご案内

群馬テレビで「生命都市いきいき前橋～市民力・地域力による健康づくり」が放映されます。ぜひ、ご覧ください。
日時＝8月24日(日)午後8時～8時30分(再放送は8月30日(土)午後8時30分～9時)

市政懇談会

「市民力・地域力による健康づくり」をテーマに市政懇談会が始まりました。寄せられた提言・要望などは、市政運営に生かすとともに、内容を整理して本紙9月1日号で紹介いたします。

一地区一自慢

本年度の「一地区一自慢」は、「健康づくり」がテーマ。各自治会で自慢の取り組みや新しい取り組みを募集します。募集の詳細は本紙9月15日号でお知らせします。